

# たか、し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 教育調査の結果について

副校長 米山 美智子

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今年度も残すところあとわずかとなりました。子供たちが一年間のまとめをしっかりと、次の学年へ進級できるように指導してまいります。

さて、昨年末に実施した教育調査結果をお知らせいたします。今年度は、紙面からオンラインを活用したアンケート調査になり、質問項目や内容の追加や変更などがありましたが、回答率 83.8%と多くの保護者の皆様にご回答いただきました。ありがとうございました。いただきました結果を真摯に受け止めて今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。集計結果につきましては裏面(中ページ)にまとめたのでご覧ください。

### 1 調査結果より成果と課題について

#### 【成果】

今年度は、昨年度以上に感染症対策のため、学校公開や保護者会などは実施も限られ、なかなか子供たちの学校生活の様子をご覧いただく機会も少なかったことで、学校の様子も伝わりにくいことばかりだったと思います。保護者の方による調査の回答を見ると、多くの項目で昨年度より肯定的評価(とてもそう思う+ややそう思う)が低い結果となっています。しかし、その中でも「学校生活全般」「学級経営」「道德教育」「体育・健康教育」「地域とともにある学校」、学校独自調査項目の「経営方針」「基本的な生活習慣の指導」「学校の取組発信」と、多くの項目で肯定率が 80%を超え、高い評価をいただけたことは今後の励みになります。また、今年度は、第3学年以上の児童に調査を行いました。児童の回答結果では、「学級経営」「学習成果の実感」「教材教具(ICT)」「体育・健康教育」「経営方針」「総合的な学習の時間の工夫」「学習評価」「基本的な生活習慣の指導」について、肯定率が 80%を超える結果となりました。特に、「教材教具(ICT)」については、90%を超える肯定率で、今年度、デジタル教科書や電子黒板の活用のみならず、一人一台専用タブレット端末を活用した授業への様々な取組が子供たちにも評価されたものと考えます。そして、「学習成果の実感」や「学習評価」が昨年度と比べて肯定率が4ポイント以上高い結果となり、児童自身もこの一年間に多くの学びがあり、それを実感するとともに、学校で適正な評価を受けていると感じているものと考えます。

#### 【課題】

保護者の方の回答において肯定率の低かった項目の一つに「一貫教育」がありますが、本校は神明中学校と連携をしているところです。今年度も児童・生徒による直接の交流活動として予定していた「遊びのフェスタ」「中学校訪問・部活動体験」など、今まで保護者の方の参観もできた大きな行事としての活動は、残念ながら感染症拡大防止のため実施できませんでした。それでも神明中学校の生徒会の皆さんが本校の6年生に学校紹介をしてくださったり、職場体験に来た生徒さんが子供たちと一緒に活動したり、6年生から中学生への質問などを紙面で行ったりと、交流活動を続けています。今後も交流の形を工夫しながら、小中の連携を図っていきたく考えます。また次年度は、本校が授業を公開し、神明中学校の先生方との研修会も計画しているところです。これからも連携に関する情報発信にも努めてまいりたいと思っております。

児童の回答で肯定率が70%を下回る項目は、「指導の個別化」「探究の学び」「地域とともにある学校」「経営方針(先生に会いたいと登校してくる)」でした。「地域行事への参加」の結果については、このコロナ禍においては仕方がないことだと思います。しかし地域の方々には、いろいろな場面で本校のために支援していただいております。そのことに感謝する気持ちをもたせたり、地域社会の中で学ぶことや社会の創り手として生きることの大切さなどを理解し、実現させたりする教育活動を工夫していくことが必要だと考えます。また、今年度の経営方針の一つである「子供たちみんなが友達や先生に会いたいと登校してくる高井戸第四小学校」については、「友達に会いたい」は 88.6%と高い肯定率でしたが「先生に会いたい」については、61.0%でした。学年が上がるにつれて「どちらでもない」と回答する割合も多くみられました。いずれにしても、友達や先生に会いたい、いろいろな人とかわかり、共に学びたいと思われる学校づくりを目指していきたいと考えます。

### 2 来年度の高四小の教育について

教育調査に寄せられたご意見や学校運営協議会でいただいたご意見をもとに、子供たちのよりよい学校生活を目指して教職員一同さらに努力してまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 令和3年度 教育調査 集計結果【肯定率】

## 1 保護者（全学年）の回答 [回収率：83.8% R2年度 91.5%]

No.	領域・観点	質問内容	R3年度	R2年度
1	学校生活全般	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	84.5%	93.3%
2	一貫教育/ 異校種の協働	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	40.5%	54.5%
3	学校評価	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	66.6%	63.2%
4	学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	83.6%	92.1%
5	学習成果の実感	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	71.6%	93.8%
6	学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	79.2%	78.9%
7	教材教具（ICT）	学校は、ICT 機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	67.7%	80.1%
8	道徳教育	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	84.5%	89.3%
9	体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	88.3%	93.0%
10	教育相談体制	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	63.9%	
11	特別支援教育 研修・理解啓発	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	58.4%	75.8%
12	特別支援教育 交流及び共同学習	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子ともと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	30.8%	
13	地域と共に 在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	81.5%	90.4%
14	経営方針①	子どもは、友達や先生に会いたいと毎日登校していると思う。	80.1%	
15	経営方針②	高四小に子供を通わせてよかったと思う。	86.5%	
16	経営方針③	高四小は、地域から愛されていると思う。	88.0%	
17	組織運営	教職員は、様々な課題や問題に力を合わせて取り組んでいる。	80.9%	90.7%
18	授業の工夫	学校の授業はわかりやすく教えている。	76.8%	86.2%
19	学習評価	子どものよいところを認め、個人面談やノート・作品の評価、通知表等で子供の学習状況が分かるように伝えている。	82.4%	85.7%
20	基本的生活習慣の 指導	子どもたちに、あいさつやきまりを守ること等、集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	85.9%	89.3%
21	学校の取組発信	学校では、いじめや不登校に対し、未然防止、早期発見、解決に向けて、組織的に対応し、指導している。	85.9%	95.2%
22	いじめ・不登校の 対応	学校の考えや取組を、学校・学級だよりや参観・保護者会等を通して、保護者に伝えている。	55.7%	50.8%
23	施設設備の 安全管理	施設・設備の定期的な点検とともに、安全に留意した学習計画を立てて取り組んでいる。	76.2%	90.7%

※No.1～13までは、杉並区の質問項目 No.14～23は、学校独自の質問項目となっています。

「たかし教室」や「ことばの教室」に通級されているお子さんと保護者の皆様にもご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。児童への「学習の成果」（通級での学習によって、分かることやできることが増えている）についての項目の回答結果は、肯定率が100%と、今年も通級での学習の成果を実感していることがよくわかりました。また、「個に応じた指導」も90%を超える高い肯定率となっております。今後も子供たち一人一人の学びが充実するよう、全教職員で努めてまいります。

2 児童（3～6年）の回答〔R2は、5・6年のみの実施〕

No.	領域・観点	質問内容	R3年度	R2年度
1	学級経営	先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	83.7%	86.1%
2	個別最適な学び (学習の個別化)	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	71.5%	
3	個別最適な学び (指導の個別化)	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	53.3%	58.4%
4	探究の学び	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	57.3%	
5	協働的な学び	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	75.2%	
6	学習成果の実感	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	83.7%	77.2%
7	学習評価	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	76.0%	80.2%
8	教材教具 (ICT)	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	90.7%	89.1%
9	系統的・連続的 指導	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	77.2%	81.2%
10	道徳教育	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	78.0%	72.0%
11	体育・健康教育	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	80.9%	76.2%
12	地域と共に ある学校	地域の行事に参加している。	37.0%	
13	地域と共に 在る学校	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	65.0%	78.2%
14	経営方針①	学校で友達に会いたいと思って登校している。	88.6%	
15	経営方針①´	学校で先生に会いたいと思って登校している。	61.0%	
16	主体的・対話的な 学び	先生は、自分の考えをわかりやすく表したり、発表したりする力を付けるように学習をすすめてくれている。	79.7%	
17	総合的な学習の 時間の工夫	先生方は、総合的な学習の時間に、いろいろな方法で学べるようにしてくれる。	80.1%	80.2%
18	学習評価	先生は、ノートや作品、通知表などで、あなたの学習面のよいところを認めてくれる。	82.5%	78.2%
19	基本的生活習慣の 指導	先生は、私たちがあいさつをしたり、学校のきまりを守ったりするように指導してくれる。	87.8%	87.1%
20	いじめ・不登校の 対応	先生は、いじめや不登校を解決するために、相談にのったり、話し合ったりしてくれる。	68.7%	69.3%

※No.1～13までは、杉並区の質問項目 No.14～20は、学校独自の質問項目となっています。

3 特別支援教室（たかし教室）・通級教室（ことばの教室）の回答

【保護者】

No.	領域・観点	質問内容	R3年度	R2年度
1	学習成果の実感	通指導学級・特別支援教室で学ぶことによって、子どもは在籍している学級の授業への参加がしやすくなっている。	86.1%	
2	経営方針①	「たかし教室」または「ことばの教室」の友達に会いたいと思って通級していると思う。（「たかし教室」のみ回答）	53.8%	
3	経営方針②	「たかし教室」または「ことばの教室」の先生に会いたいと思って通級していると思う。	94.4%	

【児童】

No.	領域・観点	質問内容	R3年度	R2年度
1	経営方針①	「たかし教室」または「ことばの教室」の友達に会いたいと思って通級していると思う。（「たかし教室」のみ回答）	38.5%	
2	経営方針②	「たかし教室」または「ことばの教室」の先生に会いたいと思って通級していると思う。	73.1%	
3	個に応じた指導	授業では、自分の得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、先生が自分用の教材や用具を用意してくれている。	92.3%	85.7%
4	学習の成果	ここ（通級）での学習によって、分かることやできることが増えている。	100%	100%
5	学習評価	通級の先生たちは、授業でできたところをほめてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	96.2%	100%

## 学校関係者評価委員会の報告

去る2月22日(火)に、杉並区立神明中学校の山内 清一校長先生を委員長として、学校運営委員の皆様による学校関係者評価委員会を開催しました。教育調査の結果や校内で自己評価について報告を行った後に、評価委員の皆様よりご意見と評価をいただきました。当日いただきましたご意見の主な内容についてご報告させていただきます。

### ◆「小中一貫」の調査結果について

- ・「小中一貫」の項目の肯定率が低いですが、今年度は「遊びのフェスタ」など児童と中学生がかかわる機会がほとんどなかったため、肯定率が低いのはやむを得ないと考える。高四小は、神明中と連携して教育活動をすすめていることは理解しているが、保護者としては、西宮中や宮前中の情報も、もう少し入るようにしてほしいと考える。
- ・「小中一貫」の項目だけ見て、評価してしまうと直接の交流はなかなかできていないので、低い評価となってしまうと思われるが、調査項目の内容をよく読んでもらうと、「連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進めれている」なので、神明中と高四小では交流活動は実際には毎年行われているので、それについて評価してもらえともう少し肯定率も上がるか…。いずれにしても子供たちからも家庭での話題に上がるとよいし、情報発信していけるとよい。

⇒神明中だけでなく、西宮中や宮前中の学校だよりなどは、校内に掲示しているところではあるが、情報の共有について工夫していきたい。

### ◆「ICT教育」について

・低学年の保護者による「教材教具(ICT)」の肯定率が、1年 37.1%、2年 59.2%と、低い結果であるがどうか。

⇒現在、どの学年、学級でもICT機器(デジタル教科書や電子黒板)を活用し、視覚的に分かりやすくしたり、資料を工夫して提示したりと、授業に活用している。また、高学年では一人一台専用タブレット端末のロイロノートのアプリを用いて自分の考えを表し、画面を共有して話し合い活動をしたり、プレゼンテーションソフトを活用して発表したりするなど、様々な活用方法で学習をすすめている。低・中学年においてもドリル学習で活用したり、中学年では調べ学習で一人一台タブレット端末を活用したりと、今年度はICT活用も進んできているところである。低学年は持ち帰りをしないため、なかなか活用の様子が伝わりにくい部分もあるので、今後も活用場面やICTを活用した授業の様子など公開できるとよいと考える。

### ◆情報提供や情報発信について

・「特別支援教育」についても全学年通じて肯定率が低かったが、学校で行っていることがもっと伝えていくことも必要である。

⇒「たかし教室」や「ことばの教室」の拠点校として、専門性の高い教員が指導に当たり、通級している児童だけでなく、通常学級でも1・3・5年生には毎年、共生社会教育としてことばの教室担当教員が授業を行っている。また、日頃よりたかし教室やことばの教室の教員が高四小の子供たちの活動の様子を見て支援したり、担任と情報共有しあったりしているところである。

今後も、教職員の連携を深め、特別支援教育に限らずいろいろな活動や児童の様子、頑張りなど情報を発信したり提供したりすることに努めていきたい。

# たか、し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 一年間ありがとうございました

校長 加納 直樹

桜の花の便りが聞かれる季節になりました。いよいよ本年度の教育課程が25日の卒業式をもって修了いたします。保護者の皆様、地域の皆様にはコロナ禍の中、子供たちの健康・安全な学校生活へのご理解をいただき、様々な学習活動へのご支援・ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。本日の修了式では各学年の児童に向けて次のように話しました。

今日で1年生から4年生の皆さんは、令和3年度が終わります。また、5年生・6年生の皆さんは、明日の卒業式に参加するので、25日に終わります。そこで簡単ですが、校長先生から見た今年度の各学年の感想を話したいと思います。

1年生…入学したころは、まだまだ幼くていつも自分中心だった1年生。しかし今では、周りの様子を見て、友達の気持ちをしっかりと考えて行動できるようになりました。学芸会の時は全員が堂々とした演技で、お友達と協力してそれぞれの役を演じたり、歌ったり、みんなで協力して素敵な劇を創り上げている様子が素晴らしかったです。

2年生…体育の時間の鉄棒や縄跳びにはいつも楽しく一生懸命に取り組んでいましたね。小金井公園や埼玉の動物園にみんなで行った時も、植物や動物をよく見て、たくさんのことを楽しく学んでいました。4月からは新しい友達と同じ教室で生活することになりますが、これまで通り楽しく一生懸命に学んでほしいと思っています。

3年生…校長先生に会うと、いつも楽しそうに友達の話や先生の話、家族の話を聞かせてくれたのが3年生です。授業中もすすんで手を挙げてたくさんの子供たちが発言していました。一緒に高尾山に登った遠足も楽しかったね。これからも明るく友達思いの皆さんでいてほしいと思います。

4年生…まず、朝も休み時間も放課後も、一目散に校庭に出て男子も女子も元気に走り回っていたのが4年生です。一番お休みも少なく、いつも元気はつらつでした。運動会の「ヒカレ★」も4年生らしく勢いがあってかっこよかったです。4月からは高学年、クラス替えをしても元気に仲良く学校生活を過ごしてほしいと思います。

5年生…いつ授業を観に行っても、全員が集中して勉強をしていました。仕事を頼むと嫌な顔一つせずにみんなが気持ちよく働いてくれるところが最高です。絶対に立派な最上級生になると確信しています。富士学園の移動教室では、ほうとう作りやキャンプファイヤー、急な坂道を上った山登りに肝試し、どれもよい思い出になりました。学芸会の「マジョリン」も素晴らしかった。卒業式も頼みます。

6年生…6年生には感謝しています。4月に初めて高井戸第四小学校に来た校長先生は緊張と不安でいっぱいでしたが、でもすぐに6年生のみんなが優しく声をかけてくれて安心したことを覚えています。これは、きっと入学した1年生も同じ気持ちだったろうと思います。高四小の最高学年として、高四小の顔として、高四小の看板として、1年間ご苦労様でした。男女仲良く、素直な皆さんは校長先生の自慢でした。4月からは小学校より広い世界へと飛び立ちますが、高四小で共に過ごした時間を大切に、元気で頑張ってください。

以上、感想です。その他に2つ話があります。

1つは、残念なことではありますが、私たちの周りには危険がたくさんあります。とくに、春休みは交通事故が数多く発生します。また、不審者の情報も多くある時期です。自分の安全は自分でしっかり守れるように、決まりを守り、気を引き締めて春休みを過ごしましょう。

そしてもう1つ、本日手渡した通知表と一緒に修了証があります。修了証をもらえたということは、今の学年をしっかりと頑張ることができたということです。ぜひ自分に拍手を送ると同時に、自分を支えてくれた家族や地域の人達や、友達や先生への感謝の気持ちを忘れないようにしてください。そして、そのことを言葉や行動で表してみてください。

令和3年度もいろいろなことがありました。子供たちのよかった点はさらに伸ばし、課題は今後その解決に向けて全力で取り組んで参ります。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 高四小 俳句作りで表彰

今年度から全校児童・教職員が毎学期俳句を作って、コンクールに投句してきました。見事に毎学期入選者を出し、今回、4年の坂井礼華さんが詠んだ俳句は年間の優秀句(佳作)に選ばれました。そして、年間の最優秀句にあたる文部科学大臣賞に4年の鈴木祐介くんの詠んだ俳句が選ばれました。全国の学校でわずか5校だけが選ばれる、学校優秀賞にも高井戸第四小学校が見事選出されました。

